

2025 年度 第 7 回東京都公立大学法人経営審議会議事要録

日 時 2025 年 10 月 24 日（金） 9 時 55 分～11 時 35 分

場 所 新宿 NS ビル 3-M 会議室

出席者 中山 泰男 理事長

大橋 隆哉 副理事長（東京都立大学学長）

橋本 洋志 副理事長（東京都立産業技術大学院大学学長）

野間 達也 副理事長（事務局長）

吉澤 昌純 理事（東京都立産業技術高等専門学校校長）

津村 博文 理事（東京都立大学副学長）

山下 英明 理事（東京都立大学学長特任補佐）

ウスビ サコ 理事（国際担当）

今市 涼子 学外委員

桜井 伝治 学外委員

鵜瀬 恵子 監事

岡村 俊克 監事

高見 之雄 弁護士

浜 佳葉子 法人運営アドバイザー

1 開会

2 確認事項

(1) 2025 年度第 6 回議事要録の確認について

議事要録（案）が提示され了承された。

3 報告事項

(1) 2025 年度東京都立大学 オープンキャンパス実施状況について

東京都立大学管理部長から報告があり、以下のとおり意見交換があった。

- ・生徒の進路選択に大きな影響を与える保護者に対しても、都立大学に進学することによりどのような将来の就職先の選択があるのかなど、保護者も安心できるような情報提供を行うことが重要
- ・既にトークイベントや個別相談会等を実施しているが、在学生と話をすることで大学の雰囲気が分かり、進路決定の要因となることが多いため、そのようなインタラクティブな時間を増やすことが重要
- ・大学の国際化を推進するためにも、参加した留学生の人数、出身地等についての情報を把握することが重要

(2) 2026 年度東京都立大学プレミアム・カレッジ募集要項等公表及び出願の受付開始等について

東京立大学学長特任補佐から報告があった。

オンラインも活用した授業実施による募集人員拡大や利便性の向上の可能性について言及があった。対面実施による価値の重要性について意見が、また、オープンユニバーシティで都民向けにオンライン授業も開講していることの紹介があった。

4 その他

(1) 東京都立大学管理部長から、京都大学北川進先生のノーベル化学賞受賞にあたり、東京都立大学在籍中の研究との関連について報告があった。

学長との対談や講演会等、東京都立大学の PR につなげられるよう積極的なアプローチをご本人の意向も踏まえた上で検討していくべきという意見があった。

(2) 桜井学外委員から、「生成 AI 活用による教育革新と法人運営の変革」について報告があった。

研究、教育、法人運営における AI 導入による効果の説明や、2 大学 1 高専の特徴を踏まえた AI 活用及び導入、展開にあたってのロードマップの提案があり、意見交換があった。

主な意見は以下のとおり。

- ・研究面については、研究費を活用し、各教員が使いやすい AI モデルを使用しており、活用の好事例等を共有しながら全体的な底上げを図っている
- ・教育面については、AI の活用は避けられないが、盗用等の不正行為を防ぐためだけでなく、大学は、学生の思考力や技術力を身に付けさせる場でもあるため、使用に当たってのルールを策定し、教育の場面ごとに活用を峻別することが必要。また、国によって AI 利用に関する法律、教育方針が異なるため、日本人学生と留学生の AI 活用に対する認識の差を踏まえた対応を検討する必要がある
- ・法人運営については、現在職員による利活用のためのガイドラインを作成している状況。定型的な業務について効率化を進め、削減できた部分を他の業務に振り向けていきたい
- ・AI 活用による効率化と既存システムの改善による効率化を、限られた予算の中でどのように優先順位を付けて対応していくのが課題である
- ・学生が AI を正しく有効に活用できるようにするための教育を早急に行っていく必要があり、それは大学の競争力にもつながる。2 大学 1 高専の協力体制が取れることが法人の強みであるため、その強みを生かして取組を進めてもらいたい

(3) 経営企画課長から、次回以降における経営審議会の開催時間の変更について報告があった。

5 報告事項（秘密会）

(1) 東京都立産業技術大学院大学 次期学長予定者の決定について

理事長から報告があった。

(2) 東京都立産業技術高等専門学校 次期校長予定者の決定について

理事長から報告があった。